

掛川市の自然

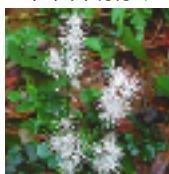
□:希少野生動植物

北部山間部

- スギ・ヒノキの人工林が広い面積を占めている。
- 大尾山や八高山の樹齢の高い林には、暖帯の上部と温帯の下部に生育する植物が混生している。
- 南アルプスの山系と繋がっているため、山地の動物が生息している。



ヤマイワカガミ



エンシュウハグマ



クマタタ



エンコウカエデ

海岸部

- 貴重な自然として県立自然公園に指定されている。
- 砂地の植物や砂浜や河口に住む動物が生息・生育。



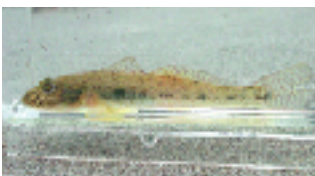
ハマゴウ



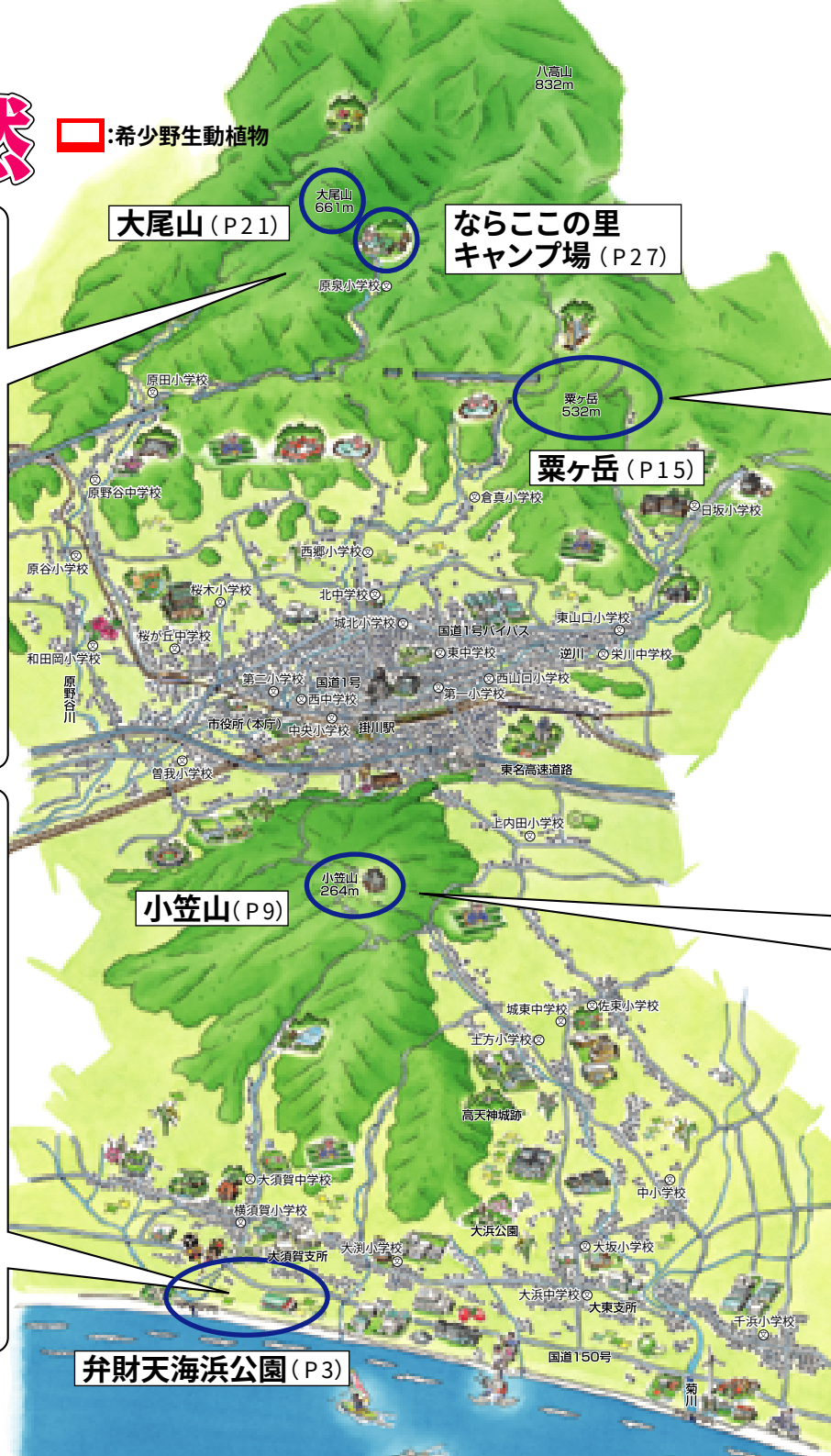
アカウミガメ



ハマボウ



マハゼ



粟ヶ岳周辺

- 阿波々神社の社叢は掛川市指定の天然記念物で、掛川市域の古くからの自然の姿を最もよく残している。
- 周辺の草地はお茶の敷き草の採草地として毎年草刈をされており、草地に生える植物が多い。



ハルリンドウ



オミネ



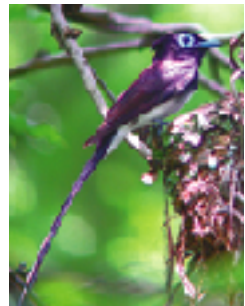
カケガワフキバッタ



フジタイゲキ

小笠山周辺

- 山地と海岸の植物が混生。
- 複雑に入り組んだ谷には多種類のシダ植物。
- 地形が複雑なため多くの種類の鳥類が生息。



サンコウチョウ



エダウチホングウシダ